

## 資料 3

### 議会広報編集委員会会議録

日 時：令和6年10月28日（月）午後3時開議  
場 所：東伊豆町役場 4階 第二委員会室

#### 1 出席者 6名

委員長 ⑦栗原京子

副委員長 ⑥稲葉義仁

委員 ①山田豪彦、②鈴木伸和、⑤笠井政明、⑭山田直志

議会事務局 書記 榊原大太

#### 2 欠席者 0名

#### 3 議 題

##### (1) 広報・広聴について（資料参照）

###### ○各自資料確認

地方議会人1月号：議会広報紙を見やすく、わかりやすく

###### ○主な意見

- ・開かれた議会ということで広報の部分と広聴の部分の両輪で進めていくようになる。
- ・町民から公用車（町長車）について意見をもらった。目に付くものは町民にわかるようにしていった方がいい。広報ひがしいずと議会だよりの連携があってもいいと思う。  
⇒ 資料にあるように知識も関心も少ない人を意識した広報づくりが大事。
- ・広聴の部分についてネット検索したが適当な資料がなかった。
- ・広聴については、過去に意見交換会等、委員会ごとには行ってきた。他の自治体では子ども議会や女性議会を開催しているところもある。また、市民フリースピーチなどの試みもある。
- ・やりたいことをまとめて議会改革特別委員会で進めるようになるのか。  
⇒ 広報編集委員会で形を作ったうえで必要に応じてメンバーを増やしていく方向がいいと思う。  
⇒ 広報編集委員会でテーマを決めて進める。以前、議員12人で参加したところ「圧」が強いと言われた。最大で6人程度がちょうどよい。  
⇒ 余裕があれば特別委員会を作ってもいいと思ったが、考えてみるとあまり時

間もない。広報編集委員会であれば議会だよりで特集を組んでそのテーマに沿った意見交換会などが開催できる。それを取っ掛かりにして広げることができる。

- ・ 広報編集委員会で議会報告会みたいなものを先にやってしまう。その中で問題点を吸い上げて次に繋げていく形も良いと思う。ただ、取っ掛かりの部分は難しいと思う。
- ・ テーマを絞らないと大変だと思う。町長ではないため問題を解決することはできない。実行するのは町長、気付かせるのが議会の役割。
- ・ 聞いたことを議会内で話し合い当局へどう持っていくか。その流れが大事。
- ・ 議会報告会は同じことを何度も話さなければならぬため大変。
- ・ 議員が全員並ぶと対決色が強くなるため、グループ分けした形の方が話しやすくなり望ましい。
- ・ 議会報告など広報編集委員会で行うとなると無理があると思うがどうか。
  - ⇒ テーマを絞る。
  - ⇒ 議会だよりの特集ページに繋がる。
  - ⇒ まずは議会だより制作の名目で広報編集委員会の中で動かした方が良く思う。その後、場合によって広げていく。
- ・ 現在の「広報発行に関する規程」に広聴の部分を組み込む方向で進める旨、12月議会での議会改革特別委員会中間報告に加える。
  - ⇒ この規定は、今後、広報編集委員会が特別委員会化しても常任委員会化してもベースになる。
- ・ 意見交換などの活動は12月議会の中間報告で予告し、実際は最終報告後に動き出すのか。
  - ⇒ 必要に応じ先行して動いても良いと思う。
- ・ 「広報紙の編集委員会」としてどこまでやっていいのか不安があったが、まずは委員会としてできる範囲で始めて、それを広げていく形で進めていく。とりあえず動いてやりながら修正していく。
  - ⇒ 12月議会までに活動スケジュールを考えたい。
  - ⇒ できれば来年4月号に特集を掲載したい。
- ・ 意見交換会は、最近のケアマネジャーのほかに今までやっているか。
  - ⇒ 区長会、農・漁業者など。今後は高齢者や子育て中のお母さんの集まり後、場合によっては夜間もできる。
  - ⇒ 町の説明会を見ても夜は人が集まらない。

## ○結 論

- ・ まずは広報編集委員会で色々な団体と懇談をしながら問題点等を吸い上げ、議会だよりに特集としてまとめていく形で進める。ゆくゆくは広報編集委員会に限らず範囲を広げて活動することも念頭におく。

- ・令和7年3月を目途に東伊豆町議会広報発行に関する規程を改廃し、議会広報の発行に加え広報広聴活動を包含したものとすることで、各種活動の根拠を明確化する。
- ・12月議会の議会改革特別委員会の中間報告で今回協議した方針・方向性を報告する。
- ・12月議会までに今後のスケジュールを決めて、実際に場を設けて4月の議会だよりで報告したい。

(2) その他

- ・議会だより1月号の行程表を配布した。年末年始を挟むため、早めの対応をお願いしたい。

⇒ 一般質問原稿〆切 12月 9日(月) 午後5時まで

その他原稿〆切 12月12日(木)

広報編集委員会開催日 12月20日(金)・23日(月)